



災害医療救護体制

今回は大規模災害時の医療救護活動における医療救護所についてお話しします。

岡 防災対策課 (☎22-919191)
保健センター (☎22-1590) へ

【災害時の医療救護】

南海トラフ地震等の大規模な地震災害が発生したときは、阿南市地域防災計画および災害時医療救護所活動マニュアルに基づき、小・中学校等の公共施設に医療救護所が開設されます。医療救護所には、阿南市医師会の協力により医師、看護師、連絡要員などが医療救護班を編成して傷病者の治療を実施します。

また、手術が必要な人や入院治療が必要な中等症者・重症者は、災害拠点病院（阿南医師会中央病院）や災害医療支援病院（阿南共栄病院・上那賀病院等）へ運ばれ、手術や治療を受けることとなります。なお、必要に応じ、災害派遣医療チーム（DMAT）等の医療従事者派遣を要請します。

【医療救護所の開設】

市内10カ所の小・中学校等の公共施設を医療救護所として指定をしています。被災の規模や施設の状態により開設されるため、すべての医療救護所が開設されるわけではありません。

ません。開設にあたっては、市が施設管理者と協議をして医療救護所を立ち上げ、医師会の医療救護班を医療救護所に派遣します。

救護所には、携帯型救急セットや非常用発電機を配備しています。また、災害時用医薬品等も、阿南医師会中央病院等に備蓄しています。

災害発生後、医療救護所を開設した際には、防災行政無線・市ホームページ・ケーブルテレビトップ・メール配信等でお知らせします。

【医療救護所での活動】

○傷病者の重症度を判別し、治療の優先度を決めます（トリアージタグと呼ばれるカードを症状別に色分けして程度判定する）。

○後方医療救護機関（災害拠点病院・災害医療支援病院等）への転送の要否および転送順位の決定

○重症者の応急処置および中等症者に対する処置

○転送困難な傷病者および避難所等における軽症者に対する医療

○死亡の確認および遺体の検案への協力

- 傷病記録および市災害対策本部への状況報告
- その他医療救護に関すること

【災害医療訓練】

徳島県地域防災計画および阿南市地域防災計画に基づいて、医療機関および防災関係機関が一体となった災害医療訓練を実施します。

日時 2月7日(日) 午前9時～正午
場所 阿南医師会中央病院
内容 医療救護所運営・トリアージ訓練等

【トリアージカテゴリー】

分類	識別色	傷病状態
最優先治療群 (I)	赤	生命を救うため、直ちに処置を必要とする者
待機治療群 (II)	黄	多少の治療時間が遅れても、生命に危険がない者
軽処置群 (III)	緑	上記以外の軽易な傷病で、ほとんど専門医の治療を必要としない者
救命困難群 (0)	黒	既に死亡している者または心肺蘇生を施しても蘇生の可能性の低い者

【阿南市医療救護所指定箇所】

(人口・世帯数・医療機関の状況により10地区に分け、小・中・支援学校に設置予定)

地区名	医療救護所	地盤高 (T.P.+m) 基準水位 (T.P.+m)	地区名	医療救護所	地盤高 (T.P.+m) 基準水位 (T.P.+m)
富岡地区	富岡小学校	2.1 (3.8)	桑野・橘地区	阿南第二中学校	27.6 (-)
宝田地区	宝田小学校	5.8 (-)	新野地区	新野小学校	34.6 (-)
中野島・長生地区	阿南第一中学校	6.4 (-)	福井・椿地区	福井小学校	14.8 (-)
大野・加茂谷地区	阿南支援学校	53.8 (-)	那賀川地区	那賀川中学校	2.0 (4.2)
見能林地区	見能林小学校	1.6 (5.0)	羽ノ浦地区	羽ノ浦小学校	5.0 (-)

※使用施設は、医療救護に役立つ保健室等多目的スペースを用いる。

【災害拠点病院、災害医療支援病院等】(南部I圏域)

機関名	備考
徳島赤十字病院 (エリア統括)・阿南医師会中央病院	災害拠点病院
阿南共栄病院・上那賀病院	災害医療支援病院